

令和5年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 9 日	加納康平議員（公明党）	質問方式：一括質問方式
	<p>1 市民の健康と暮らしを守る政策について</p> <p>(1) コロナウイルス感染症の現状と終息に向けた今後の With コロナについて</p> <p>ア コロナ感染症のこれまでの現状と With コロナに向けた今後について 2類から5類への変更に対し、本市としてコロナ感染症のこれまでの現状と With コロナに向けた今後の考えは</p> <p>イ 市民病院建て替え建設計画について 市民病院の建て替え計画が検討されているが、詳しく建設の構想に向けての考えについて伺う</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について 令和4年度補正予算及び令和5年度予算で一体的予算として組み込まれた施策や事業は何事業あるか。また、総額でどの程度になるか</p> <p>(2) 安心で安全な子育て環境の整備について</p> <p>ア 0歳児の見守り訪問事業の展開について 0歳児の見守り訪問事業として、ぽかぽか★おむつ定期便事業を実施するとしているが、具体的な内容はどのようなものか。 また、現場に寄り添う伴走型支援については、人材の育成や確保のための体制整備が必要と考えるが、見解は</p> <p>イ 子ども食堂の整備拡充について 児童虐待やいじめ、不登校、自殺も増え、子どもを巡る状況は深刻であり、様々な形態の子ども食堂の整備や運営をサポートする体制を整備し、柔軟かつ積極的に進めるべきと考えるが、見解は。 また、本市では子どもの居場所支援事業と子どもの居場所づくりネットワーク事業が実施されているが、現在までの状況と成果はどうか。 また、令和4年度から子ども家庭総合支援担当を置いているが、現在までの経過と状況は</p> <p>ウ 奨学金の代理返還への支援について 地域の奨学金の代理返還制度を導入する企業に対する行政からの支援制度を創設し、学生と企業と地域社会の活性化を図ることは大変に有意義と考えるが、見解を</p>	

3 月 9 日	<p>エ 尾道発！大胆な子ども施策の展開について 本年4月からは「こども基本法」が施行され、こども家庭庁も設置されるが、本市はこの体制についてどのような見解を持っているか。また、市長は少子化対策のモデル都市をめざすとも言われている。尾道発！の実現に向けて大胆な施策を展開して頂きたい。意気込みを伺う</p> <p>(3) 安心安全な地域コミュニティの育成強化と地区防災体制（組織）について</p> <p>ア 自主防災組織の拡大と充実について</p> <p>イ 地区防災体制の充実強化と地域防災体制の在り方について</p> <p>2 市民が主役のまちづくりについて</p> <p>(1) スポーツタウン尾道の構想について</p> <p>ア スポーツタウン尾道をどのような全体像でブランド化する考えか</p> <p>3 新しい尾道づくりの挑戦について</p> <p>(1) 地域公共交通の整備と未来ビジョンについて</p> <p>ア 御調町の予約型乗合タクシーの運行を平成 30 年から約4年間実施しているが、これまでの運行実績に対する課題や問題点は</p> <p>イ 令和5年度から新たに導入の MaaS 社会実装事業が、御調町乗合タクシーの運行に採用されるが、事業の内容とその期待についての考えは。併せて他地域への展開の考えは</p> <p>(2) 尾道の産業、雇用活性化について</p> <p>ア 本市では創業・開業等支援事業を平成29年度から実施されていますが、これまでの実績についての評価はどうか</p> <p>イ 市長は、儲かる農林水産業として、ブランド製品の販路拡大や6次産業化の促進を推進するとしています。具体的にどのような産品や販路拡大、6次産業化をお考えかお聞かせください。また、「農」の担い手総合支援事業のこれまでの成果についてどう評価されているかお伺いします</p> <p>ウ シティプロモーション推進事業を関係する担当部署において、創業支援、移住促進、空き家対策など魅力発信してきたが、これまでの事業の進捗に対する評価はどうか。また、移住定住コンシェルジュ事業の実施により、本市の魅力や優位性などが、移住・定住者などの訪問動機や関係人口の増加にどのようにつながっていくか新たな事業の取り組みについての考えは</p>
------------------	--